

利用申請書の記入例(表面)

様式第1号

福岡市美術館施設利用許可申請書

令和4年1月5日

(宛先) 福岡市教育委員会教育長

〒 810-0051

申請日を記入

申請者 所在地 福岡市中央区大濠公園1-6
 (よみがな) 大濠美術会
 団体名 ふくおか たろう
 (よみがな) 代表者 福岡 太郎

結果の連絡先が代表者と異なる場合
 (例: 会場責任者)は、結果の郵送先
 (住所、氏名)を必ず余白に記入して
 ください。

(電話 092 - 000 - 0000)

次のとおり福岡市美術館の施設を利用したいので、許可を申請します。

なお、利用に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従います。

B+C(全室)を使用したい場合は、
 「ギャラリーBとC」、
 BとCの半分を使用したい場合は、
 「ギャラリーBとC(半分)」と記載ください。

利用する施設	ここが第1希望になります。 ギャラリーA	会場責任者氏名	大濠 一郎 (電話 092-714-6051)
利用期間 第1希望	展示室	令和4年6月27日から 令和4年7月3日まで 7日間	搬入 6月27日から (9時 30分 から 17時 30分 まで)
	その他の施設	年 月 日 (曜) 時 分から 年 月 日 (曜) 時 分から	展示 6月 28日から 7月3日まで
利用目的	展览会開催 有料の場合は記入	(よみがな) 催物の名称	大濠美術会展 必ず記入 未定の場合は、仮称を(仮)と記入
入場料	有料 大人 円 学生 円 小人 円	無料	入場者見込み 延べ 1000人 概数を記入
館内での頒布物	有 (有料) 無 (無料)	無	
共催	有料の際は頒布物の内容を記入	後援	共催、後援があれば記入
利用する付属設備	1 スポットライト、彫刻台、長机等は共用です。 展示室以外の諸室の利用について、現時点で希望があれば、お知らせください。	5 ()	
	2	6 ()	
使用料 (年度)	施設 (未記入) 円	付属設備 (未記入) 円	計 (未記入) 円

(注) 1. 利用期間には、搬入・搬出の日を含みます。

2. 太枠線内のみ記入して下さい。(電話は昼間、必ず連絡できる番号を記入して下さい。)

利用申請書の記入例(裏面)

利用する施設	ギャラリーB	利用する施設	ギャラリーA
第2希望 利用期間	令和4年7月4日から 令和4年7月10日まで 7日間	第3希望 利用期間	令和4年7月11日から 令和4年7月17日まで 第2, 第3希望を希望される場合は記入
備考	※上記以外でも可能な場合は、利用する施設どこでも可に○を、不可能は×をつけてください。 なお、2室希望の団体は調整で減室となる場合もあります。2室を確保する必要がある場合は、 2室希望減室を×と記入してください。また利用期間のいつでも可の場合は、利用期間いつでも可に○を不可能は×をつけてください。		
催物の内容			
団体の沿革、出品者の略歴、作品の種類・点数等できるだけ内容がわかるように記入して下さい。 (資料添付も可)			
団体の構成人数	人 ※ 個展の場合は「1名」と記入 申請する団体の構成人数を必ず記入		
団体の沿革、出品者の略歴 できるだけ詳細に記入			
作品の種類(例: 日本画・水彩画・版画・油絵・写真・書・陶器・彫刻など具体的に記入) 作品の種類は具体的に記入してください。 (記載内容を編集して展覧会案内に記載します) ※新規のギャラリー申込者は必ず資料を提出すること(資料の返却はしません)			
作品の点数・大きさ・彫刻等は重量も(例: 油絵 Fサイズ50号 35点など) 作品の点数等は具体的に記入してください。 (記載内容を編集して展覧会案内に記載します)			
本展の当館での開催実績	有 (回) ・ 無 利用年月 過去の実績(回数, 実施年, 展覧会名)を正確に記入してください。 ※ギャラリー2室以上の利用希望の場合→利用機会を増やすため「減室」する場合があります。 ※申請が多い場合, 3年連続・新規については優先順位が低くなります。		